
意味がわかると怖い話【Original】

百花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意味がわかると怖い話【Original】

【Nコード】

N4493M

【作者名】

百花

【あらすじ】

題名の通り、【意味がわかると怖い話】の『オリジナルバージョン』です。

1話ごとに問題↓解説をしていきたいと思います。

1話に1つほど入れるので、是非見てください。

【意味がわかると怖い話<http://ncode.syosetu.com/n1014m/>】

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などに

は、
いっさい関係ありません。

f i r e / 1 『財布』（前書き）

ファンフィクションですがこれらはオリジナルです。
つくるのに時間がかかるので一度にたくさんのご投稿は
できないかと思われます^^；

f i r e / 1 『財布』

f i r e / 1

「財布を落とした!？」

気づいたのは友達の家を出てかなりの所でもう少しで家に帰れる、
と言う所だった。

中には現金1万円にポイントカードやらなんやらが入っていたハズ
だった。

とりあえず友達の家にも全速力で向かった。幸い、チャリだったので
案外早くに着いた。

途中、焦っていたので赤信号無視や斜め横断などをしまくっていた。
あー学校に通報されたらどうしよう・・・とか思いながら友達に財
布の事を言った。

友達はビックリしながら、ああと言うように中に入って行ってしば
らくしてから戻ってきた。

それは間違いなく俺の財布だった。

ああーよかった。

俺はホッとして家に帰った。

しかし・・・あいつ財布をなくしたただけなのにやけにビビッてたな・
・

そんな事を思いながら俺は眠りについた。

ヒント【文中に答えがあります。】

f i r e / 1 『財布』（後書き）

どうですか？

簡単ですかね・・・

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 1 『財布』解説（前書き）

解説です。

f i r e / 1 『財布』解説

f i r e / 1 解説

f i r e / 1

注目ポイント」

「財布を落とした!？」

気づいたのは友達の家を出てかなりの所でもう少しで家に帰れる、
と言う所だった。

中には現金1万円にポイントカードやらなんやらが入っていたハズ
だった。

とりあえず友達の家に全速力で向かった。幸い、チャリだったので
案外早くに着いた。

途中、『焦っていたので赤信号無視や斜め横断などをしまくって
いた。』

あー学校に通報されたらどうしよう・・・とか思いながら友達に財布の事を言った。

友達はビックリしながら、ああと言うように中に入って行っただけで、早くしてから戻ってきた。

それは間違いなく俺の財布だった。

ああーよかった。

俺はホッとして家に帰った。

しかし・・・あいつ財布をなくしたただけなのにやけにビビってたな・・・
そんな事を思いながら俺は眠りについた。

かなり無理やりっぽいですが、彼は途中で赤信号無視などしていて彼は車に轢かれてしまいました。しかし、彼は自分が死んだ事に気づかず

友達の家に行きました。友達は死んだ彼が見えたのです。

f i r e / 1 『財布』解説（後書き）

自作なんで変なトコが多いですが

そんな所は多めに見てください（汗

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 2 『眼鏡』

f i r e ' 2

ある日俺ら5人ほどで肝試しをしよう！って事になったんだ。
夜、皆集まったのを確認してから近所の廃墟に向かった。

しばらく探索したが一向にお化けが出てくるところか怖い事が起こ

らない。

もう帰るか、ってなった時に急に友達の一人が叫びだした。見ると、「眼鏡、眼鏡」と叫んでいた。

眼鏡ぐらいいいだろ。どーせお前の伊達眼鏡なんだから・・・とか思いながら、気味が悪かったのでみんな帰宅した。

そっぴえばアイツ・・・眼鏡かけてたっけな・・・

ヒント【よく読むとわかります】

f i r e ' 2 『眼鏡』（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e / 2 『眼鏡』解説

f i r e / 2 解説

注目ポイント『

ある日俺ら5人ほどで肝試しをしよう！って事になったんだ。
夜、皆集まったのを確認してから近所の廃墟に向かった。

しばらく探索したが一向にお化けが出てくるところか怖い事が起こらない。

もう帰るか、つてなった時に急に友達の一人が叫びだした。

見ると、『「眼鏡、眼鏡」』と叫んでいた。

眼鏡ぐらいいいだろ。どーせお前の伊達眼鏡なんだから・・・とか思いながら、気味が悪かったのでみんな帰宅した。

そういえばアイツ・・・眼鏡かけてたっけな・・・

「眼鏡、眼鏡」とは目がねえ！って事です。
つまり彼は・・・

f i r e / 2 『眼鏡』解説（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 3 『自販機の下』

f i r e ' 3

自販機の下にお金を落つことしてしまた・・・
なんとか取り出そうとするがなかなか取れない。
あと一歩なんだがいくらやっても無駄だった。
そこらへんの棒で引つかきまわしたりもした。
地面に顔をくっ付けてお金の位置を探したりもした。
しかし、まったく見当たらなない。

確かにあるはずなのに。

ムカついた俺は自販機を思い切り蹴っ飛ばした。

すると俺に大量の虫が降って来た。

ビックリして取り乱しちまったが

すぐ振り払った。

急いで帰宅すると今度はどこからか人の喋り声が聞こえる。

一軒家で一人暮らしなのに・・・

あー怖い怖い

嫌な一日だった。

ヒント【彼の身に起こった事を整理すれば・・・】

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4493m/>

意味がわかると怖い話【Original】

2011年4月1日13時03分発行